

令和3年  
2021

1月26日

火

3月21日

日

一会場

九州国立博物館  
太宰府天満宮横

3階  
特別展示室

奈良

特別展  
Manifestations of Mercy:  
Treasures from the Chūgūji Temple

# 中宮寺の国宝

うつくしき慈悲のほとけに



## 聖徳宗 中宮寺

奈良斑鳩の地に飛鳥時代に創建された尼寺。当初の寺地は現在地より約400m東であった。聖徳太子とその母間人皇女にゆかりのある寺として知られる。平安期に衰退するが、鎌倉期に尼僧信如が再興。近世には門跡寺院となる。本尊は如意輪観音。現在は聖徳宗。



〔左〕中宮寺本堂 〔右〕花鳥散図襖(表御殿上段の間) 撮影：佐々木香輔



画像提供／奈良国立博物館 撮影・森村欣司



## 門跡尼寺を彩った 豪華絢爛な襖絵

おもてごてんじょうだん  
表御殿上段の間は、金箔地に描かれた色鮮やかな花鳥図によって部屋全体が荘厳される。皇室ゆかりの御所文化を彷彿とさせる設えといえよう。

《花鳥散図襖》江戸時代 18世紀 奈良・中宮寺

〔主催〕中宮寺、九州国立博物館・福岡県、日本経済新聞社、西日本新聞社、テレQ  
〔共催〕(公財)九州国立博物館振興財団 〔特別協賛〕積水ハウス 〔協賛〕大林組、サンエムカラー 〔特別協力〕太宰府天満宮  
〔協力〕アイリスオーヤマ 〔後援〕福岡市、太宰府市、太宰府市商工会、太宰府観光協会

開館時間—午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館(入館は午後7時30分まで) 状況により夜間開館を行わないことがあります。  
休館日—毎週月曜日

観覧料—一般1,800円、高大生\*1,200円、小中生\*800円

\*大学生以下の方は日時指定チケットとあわせて展示室入口にて学生証や生徒手帳等をご提示ください。※上記料金で九州国立博物館4階「文化交流展(平常展)」もご覧いただけます。

〔日時指定チケット・事前予約について〕※2020年11月2日発売開始(予定)

**ご入場には、オンラインによる日時指定チケット(事前予約)が必要です。**

詳しくは特設チケットページ (<https://chuguji.ticket.artne.jp/>) をご確認ください。

- 新型コロナウイルス感染症予防のため、招待券や障がい者手帳等をお持ちの方を含め、全てのお客様が事前に特設チケットページより来場日時の予約、購入が必要です。
  - 障がい者等とその介護者1名は無料です。日時指定チケットとあわせて展示室入口にて障害者手帳等(詳細については当館ホームページ等をご確認ください)をご提示ください。
  - クレジットカードの決済ができない場合など、ローソンチケット(Lコード:82441)でもご購入いただけます。但し、ご購入前に、必ず日時指定の予約を行っていただく必要があり、購入の際に各種手数料がかかる場合があります。ご了承ください。
  - 本展ではスムーズな運営を図るため、キャンパスメンバーズ券以外の各種会員制度やクーポン等による各種割引のお取り扱いはございません。
- お問合せ：中宮寺の国宝展事務局(西日本新聞イベントサービス内)TEL.092-711-5491(平日午前9時30分～午後5時30分)

- マスク着用のうえご入館ください。(マスクの着用がないとご入館いただけません)
- 37.5度以上の発熱、また風邪などの症状がある場合はご入館いただけません。

チケットの予約はこちらから



駐車場(有料)には限りがございますので予めご了承ください。

- 〔公共交通機関〕
- 西鉄電車=西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約18分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分※特急/急行料金不要
  - JR=JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
  - 西鉄バス=博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分
- 〔車〕
- 九州自動車道=太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分
  - 福岡都市高速=水城出口から高雄交差点経由で約20分
  - タクシー利用=JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分



## 九州国立博物館 太宰府天満宮横

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 [www.kyuhaku.jp](http://www.kyuhaku.jp)

NTTホーロダイヤル 050-5542-8600 (午前8時～午後10時/年中無休)

九州・山口のアート情報サイト「アルトネ」

ARTNE [artne.jp](http://artne.jp)

撮影：佐々木香輔

観覧には、  
オンラインでの  
日時指定チケット  
〔事前予約〕  
が必要です。





# 中宮寺の国宝からガンダーラ、中国、朝鮮半島、日本の半跏思惟像が一堂に



うつくしき慈悲の  
ほとけの姿をこの目で

斑鳩の地で尼寺として創建された中宮寺。その当初の伽藍の様子や、紡がれてきた歴史、聖徳太子との深いつながりを示します。鎌倉時代には尼僧信如が天寿国繡帳を再発見し、寺を再興しました。

度重なる災厄を経た中宮寺は、近世には門跡寺院として営まれました。こうした歴史をひもとくだけでなく、



中宮寺跡

本尊の菩薩半跏思惟像の造形のルーツを、遠くガンダーラから中国、朝鮮半島そしてわが国の飛鳥時代へとたどりまします。今なお私たちの心を魅了し続ける美しき本尊。文学者や写真家らの眼差しを通した賛美の姿もご紹介します。

## 九州初公開

見る人すべてを魅了する  
美しき中宮寺の本尊

優しいまなざし、静かなほほえみは、人々の心を惹きつけてやまない。背筋を伸ばした凛とした姿には穏やかさの中にも威厳が感じられる。

国宝《菩薩半跏思惟像(伝如意輪観音)》

飛鳥時代 7世紀 奈良・中宮寺  
撮影：佐々木香輔

聖徳太子の妻が  
亡き母と夫のために作った  
天寿国繡帳

聖徳太子が往生した「天寿国」をあらわした刺繍。原本は飛鳥時代、模造は鎌倉時代につくられ、江戸時代にそれらの断片が貼り合わされ今の姿となった。色鮮やかな断片は飛鳥時代のもの。

国宝《天寿国繡帳》部分  
飛鳥時代 7世紀 奈良・中宮寺  
[展示期間/1月26日(火)~2月21日(日)]



画像提供/奈良国立博物館 撮影：森村欣司



画像提供/奈良国立博物館 撮影：佐々木香輔

中宮寺中興の祖、  
天寿国繡帳を発見・復元  
天寿国繡帳を再発見した信如(1211?)の肖像と伝える。本来は羅漢図と考えられるが、色白で柔和な顔立ちに信如の姿が重ねられたのだろう。《伝信如比丘尼像》部分  
室町時代 15世紀 奈良・中宮寺



## ガンダーラ

若き日の釈迦が  
人生の苦しみを思惟する

仏像誕生の地ガンダーラ(現在のパキスタン)。青年時代のシッタータ太子(のちの仏陀)は汗を流して働く農夫の姿を見て、人生について深く思いを巡らせる。

▲《樹下思惟》  
クシャーン朝 2-3世紀  
京都・龍谷大学 龍谷ミュージアム



## 中国

中国北魏時代屈指の傑作

四角い顔立ちや、規則正しく畳まれた裳の襷などは、中国南北朝時代の仏像の特徴。こうした形は、わが国の飛鳥時代を代表する止利様式の仏像彫刻の源流となる。

重要文化財《菩薩半跏像》  
北魏時代 6世紀 東京・永青文庫



## わが国で

唯一の「弥勒」銘をもつ半跏像

台座に刻まれた銘文に「弥勒」であり、半跏思惟像が弥勒であったことを示す貴重な例。制作時期も「丙寅年(666年)」とわかる。童子形の愛らしい作風も見どころ。

重要文化財《弥勒菩薩半跏像》  
飛鳥時代 666年 大阪・野中寺  
画像提供/奈良国立博物館 撮影：佐々木香輔



## 日本

如来の座である須弥座に腰かけるのはなぜか

本来は如来の座である須弥座に腰かける。釈迦に次いでこの世に現われて悟りを開く弥勒菩薩として作られたものか。極端な瘦身のユニークな造形も注目。



## 朝鮮半島

キリストの象徴として  
守られた新羅の仏



長崎市浦上の民家でイエス像としてまつられていた。宝冠や衣などの形から新羅で作られたことがわかる。京都・広隆寺の弥勒菩薩半跏像(国宝)の造形に通じる。

長崎県指定文化財《菩薩半跏像》  
三国時代 7世紀 長崎・日本二十六聖人記念館  
[展示期間/2月23日(火・祝)~3月21日(日)]  
撮影：九州国立博物館 暮合晴彦

重要文化財《菩薩半跏像》  
飛鳥時代 606あるいは666年 東京国立博物館(法隆寺献納宝物)  
画像提供/東京国立博物館